

やまがた創生便り

第12号
2019.2.20

山形県内の高等教育機関は、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に取り組みながら、地域の将来を担い活躍する力を持った地域人材の育成と定着を目指しています。「やまがた創生便り」では各高等教育機関および連携自治体が発行している地方創生に関する取組を報告いたします。

山形県立米沢栄養大学

山形市学校給食センターを見学して

山形県立米沢栄養大学 山口 光枝

米沢栄養大学では、在籍する学生全員が管理栄養士を目指して勉学に励んでいます。また、一部の学生はさらに教職課程を履修し、栄養教諭免許も取得します。栄養教諭は、採用された自治体によって勤務場所が小中学校あるいは給食センターになりますが、いずれの場合も大規模な学校給食の経営管理に携わる可能性があるため、在学中に実際の現場を知ることは重要です。

このたびは3年生の免許取得希望者が訪問し、山形市学校給食センター見学と山形市の管理栄養士さんとの面談が実現しました。2万食規模の食数を調理できる巨大な施設や調理器具類は圧巻で、安全性を重視した衛生管理体制は徹底されたものでした。学生にとって最も大きな収穫は、座学では実感しづらい現場の臨場感や、スタッフの方々の仕事への使命感を感じ取り、資格取得への決意を新たにできる機会になったことだと思います。

貴重な経験をさせていただいた山形市学校給食センターの皆様へ改めて御礼申し上げます。



参加学生の感想

見学に参加した学生たちからは、次のような感想がありました。

- 今回の見学で強く印象に残っているのは、大型のフライヤーで揚げ物の温度を細かく調整されていたことです。大量調理において、少しの温度の差が美味しさに大きな影響を及ぼすのだということがよくわかり、小さなことにも気を配る必要性を学びました。今回学んだことを生かし、これからも勉学に励んでいきたいと思っています。
- これまでに単独校調理場を見たことはありましたが、共同調理場は見たことがありませんでした。大量に調理することに難しさはあると思いますが、その中で子どもたちのことを思いながら心を込めて調理されている姿に感動しました。本当に貴重な経験になりました。
- 実際に作業している様子を見させていただきながら、管理栄養士のかたには出る質問に対してその都度答えていただいたので、とても理解が深まりました。見学に向う前の印象や考えがガラリと変わったように感じました。

山形から考える「フィールドワーク 共生の森もがみ」



山形大学 学術研究院
(学士課程基盤教育機構)
講師 阿部宇洋

この講義は、山形大学と最上地域が連携して実施している講義で、地域の皆様のご協力の下13年間継続している地域体験型講義です。1年生を中心に年間約250人受講しています。

受講学生は、4日間のフィールドワーク（以下FW）に参加します。FWでは地域の熟練講師より、地域人目線の地域の魅力や、問題点、暮らしや生業の実状を体験的に指導いただき、

学生は、座学とは異なり五感を活用しながら情報を取得し、学びを深めます。

その後、FWでの学びから、地域課題や、地域の魅力などの裏付けとなる資料調査を実施し、最終的に地域の方を対象とした地域課題解決の提案発表、活動報告会を行います。

地域の現状を自身で体験し、その体験を情報化、言語化し、発表、レポートに活用するという大学での学びの基礎を習得するとともに、地域では大学生らしい新発想の提供と繋がりが創出されています。

この講義がきっかけとなり、FWでお世話になった地域の方との継続的交流が生まれ、講義終了後も地域と連携した活動が持続している学生もいます。



新庄東山焼の製造過程を学ぶ



金山町有屋地域の魅力を聞き取り調査



地域共創シンポジウムの開催運営

受講学生の声



地域教育文化学部1年
佐藤安希

このフィールドワークで、自ら触れ、話し、感じて学ぶことの大切さを知りました。私は、新庄東山焼六代目当主の涌井弥瓶さんから東山焼の伝統を学びました。実際に作製してみて、繊細な焼き物を思い通りの形にするの難しさを身に染みて感じました。さらに、いつも人のためを思っているのづくりをされている涌井さんの、ひたむきに取り組む姿勢が大変魅力を感じました。

私たちは、このフィールドワークで学んだことを学生の視点から伝えたいと考え、新庄東山焼のパンフレットを作成しました。有志が集まったメンバーで開催したシンポジウムではパンフレットについても地域おこしのプロフェッショナルの方々より、アドバイスをいただくことができました。この活動で学んだ反省点を活かし、これからの学びにつなげたいと思います。



農学部1年
山崎大海

私はこの講義で金山町有屋地区へ行きました。そこで与えられた課題は地域の人々が定住したいと思うような地図を作ることでした。

しかし、地域との意思疎通などがうまくいかず、思っていたより製作に時間がかかり難しい課題でした。また、講義でのフィールドワークは2回(4日間)しか訪れないため、その2回でマップを完成させることができませんでした。

しかし何も成果を残さず終わるのは悔しかったため、地域共創のグループを作りました。そして、大学から助成金をいただき、地域おこしの専門家を招聘しシンポジウムを開催し、知識やアドバイスをいただきました。

その後、アドバイスを基にフィールドワークを実施し、できる限り行動しました。それでも納得いく地図が作れず今も奮闘中です。

この講義をきっかけに、地域創生に関わりましたがとても難しく上手くいきません。まだまだ経験は浅いですがこれからも頑張って活動していきたいと思っています。

COC+連携自治体の取組

COC+連携自治体の地方創生や人材育成・定着に関わる取組を報告いたします。

長井市

長井市では、「地方創生」に資する人材の育成及びその育成環境の整備に向けて、起業体験ワークショップを平成29年度から開催しています。今年度は平成30年12月9日(日)に実施し、市内の高校生9名・中学生7名に参加いただきました。

参加者は4グループに分かれ、同グループのメンバーとファシリテーター役の山形大学の学生とともに「会社をつくること」を体験しました。仮想の会社とはいえ、テーマに沿った商品製造・販売につなげるため、ニーズ調査に基づいた事業計画を準備したり、事業資金獲得のため、本物の銀行員を前にプレゼンテーションにチャレンジしたりと普段の学校生活では

味わえないクリエイティブな体験を得ました。

この体験で養われた起業家精神をより多くの方に理解してもらい、若者が誇りを持って働くことのできる地域づくりができるよう、より幅広いプログラムを展開していきます。



本物の銀行員を前にプレゼンテーションを行う参加者

上山市

上山市では、進学等により地元を離れた学生等を対象に、市内企業の魅力や採用情報等を発信し、本市で働き定住することに繋げるため、上山市の企業採用情報サイト「カミリク」を開設しております。本サイトでは、就職活動に取り組む学生が上山で働きたいと思える、そんな魅力あふれる市内企業を紹介しております。今年度は、掲載企業による魅力情報発信の取組として、若い職員の方を中心に、仕事の内容ややりがい、学生等へのメッセージ等を月1回のペースで発信しておりますので、QRコード、市のHPからご確認ください。

「Facebook」「Twitter」「Instagram」のSNSを活用した

更新情報等の発信も行っておりますので、フォローお待ちしております。

「Facebook」ページ名 上山市企業採用情報サイト カミリク
「Twitter」アカウント @kamiriku2019
「Instagram」アカウント kamiriku2019



平成30年度 COC+シンポジウム 「オールやまがたによる 若者定着を目指して」を開催しました

連携自治体を含む県内の自治体関係者や会社員、県内外からの教職員、学生など約100名にご参加いただき、産学官をはじめ、各機関の強みを発揮したオールやまがた体制での連携を確認する充実の機会となりました。

第1部では、吉村美栄子山形県知事・清野伸昭山形県商工会議所連合会会長・小山清人山形大学長による鼎談が行われました。強い危機意識を持ち産学官が連携して若者定着に取り組むとするメッセージを取りまとめました。

第2部では、地域での若者定着に向けた取組や県内就職者・内定者からの山形で働くことや仕事への向き合い方などが報告されました。

第3部では、パネルディスカッションとして第2部の報告者とフロアとの質疑応答や意見交換が行われました。



鼎談の詳細内容はこちらからご覧いただけます▶
http://www.yamagata-u.ac.jp/coc/information/news20190115_0072.html



【事業の連絡先】

山形大学 COC・COC+推進室(発行) TEL: 023-695-6264, 6266
山形県立米沢栄養大学総務企画課 TEL: 0238-22-7330
鶴岡工業高等専門学校総務課 TEL: 0235-25-9453
東北公益文科大学地域共創センター TEL: 0234-41-1115

E-mail: cocsuisin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
E-mail: jimuyone@yone.ac.jp
E-mail: kikaku@tsuruoka-nct.ac.jp
E-mail: coc-staff@koeki-u.ac.jp

東北芸術工科大学法人運営課 TEL: 023-627-2089
東北文教大学運営企画室 TEL: 023-688-2298
米沢市総合政策課 TEL: 0238-22-5111 (内:2810)
鶴岡市政策企画課 TEL: 0235-25-2111 (内:525)
長井市地域づくり推進課 TEL: 0238-87-0817
遊佐町企画課 TEL: 0234-72-4523

E-mail: c_o_c@aga.tuad.ac.jp
E-mail: soumu@t-bunkyo.ac.jp
E-mail: chiiki-t@city.yonezawa.yamagata.jp
E-mail: n-chiiki@city.nagai.yamagata.jp
E-mail: kikaku@town.yuza.lg.jp

COC+参加大学等の活動



キャリア教育

鶴岡高専では、学生生活の充実と豊かな将来のためにキャリア教育を行っています。昨年の10月には、県内外で社会人や大学院生と

して活躍されている本校卒業生の方々をお招きし、講演会を開催しました。講師の方から後輩に向けて、学生時代をどう過ごすかのアドバイスや、実際に働く際に大切なことなどをお話いただき、その後学生からの質問にもお答えいただきました。



講演に耳を傾ける学生達



山形のスポーツをデザインでサポートする「Team Assist」

TEAM ASSISTは、原高史教授の指導のもと、東北芸術工科大学グラフィックデザイン

学科の1~4年生の有志20名からなるチームです。パストラボ山形ワイヴァンズの公式グッズデザインを担当しています。会場ではオリジナルのメガホンが作れるワークショップ等も行っており、デザインで山形のスポーツを盛り上げるべく活動しています。



地域コミュニティにおける「防災」の仕組みづくり—酒田市飛鳥

2014年度からとびしま未来協議会との協働で防災の仕組みづくりに取り組んでいます。今

までに「地区防災計画」「防災・観光複合施設」「避難路の整備・維持管理」「観光分野の防災」をテーマに調査や島民ワークショップを実施しました。これらの提案が、島民・NPO・公益大・市・県と共創での飛鳥振興重点プロジェクトを通じて、実現へ向けて進んでいます。



隣組単位の避難カルテづくりに取り組む島民と学生



保育職就職セミナー開催

山形県内の幼稚園・保育所・認定こども園から8名の園長先生など大学に来ていただき、子ども教育学科3年生で保育職就職を希望する

学生を対象に、模擬面接を行いました。保育の専門性を身に付けた職業人として、保育現場や社会が求める人材像について研鑽することが狙いです。各園の園長先生からはさまざまな質問が出され、学生は緊張しながら懸命に答えていました。また模擬面接後には、保育職就職に向けてのグループ討論・質疑応答を行いました。



フィールドプロジェクトK (幼少年期の運動とスポーツ指導)

山形県内の保育施設や小学校に出向き、幼児および小学生を対象に運動の楽しさや喜

びを伝えるためのプログラムを提供し、指導を行っています。保育施設や小学校との相互交流を通して、学生が子ども達や先生方と共に動き、学んでいく活動です。中でもリズムダンスは高強度の運動ですが、音楽に乗って楽しくできるため、子ども達から好評です。



大石田町ウォーキングマップ

運動習慣のある者の割合を増やし、介護予防に資することを目的に「大石田町ウォーキングマップ」を作成しています。町民のよく知る

町内のマップでありながら、健康に関する情報やウォーキングの注意点なども記載してあることが特徴です。持ち歩きやすい大きさですので、みなさんに手に取っていただき広く普及することを期待しています。



大石田町を視察する学生